

**ワイヤーレス矯正への応用（CO2レーザーによる上唇小帯切除とLLLT） 山平義之**

近年口元の美の意識が確実に高まり矯正装置が目立たない矯正を希望する患者が増えている。そのようなニーズに応えたプラスチックの装置が Essix アプライアンスであり、この装置を用いたワイヤーレス矯正が広まりつつある。

ワイヤーレス矯正とは、前アメリカ矯正学会会長のジャック・シェリダン教授（ルイジアナ州立大学歯科矯正学）が開発した画期的な矯正方法で矯正ワイヤーを全く使用しないので目立たない審美矯正である。

ワイヤーレス矯正の特徴としては

1. 透明なので矯正装置が目立たない。しかも可撤式である。
2. 通常 6 ヶ月から 1 年以内という短期で治療が完了する。
3. プチ矯正を考えている方にとっては経済的。
4. 食事の時取り外せるので口腔清掃が楽である。

• 問題点は

1. 可撤式とはいえプラスチック装置を夜間入れることによってカリエスの発生や歯周組織への影響も考慮しなければならない。
2. 短期間での早いスピードで歯を移動させると歯根や歯肉に多大な負担をかけ、歯の根が吸収されるのではとの心配もある。
3. 正中歯の念転や歯間離開は、上唇小帯の異常（高位付着異常や肥大）が原因となる場合がありそのまま矯正を行っても後戻りの可能性が高くなる。

これらの問題はレーザーを活用することによってクリアできる。

- 今回の症例は、上唇小帯の付着異常を伴った正中離開をレーザーで小帯切除すると同時にワイヤーレス矯正装置を入れることによってわずか三ヶ月で改善した患者を紹介する。

患者は 15 年前に一度矯正をしたがその後後戻りをしたことによって来院。正中離開の原因となった小帯切除の必要を説明しワイヤーレス矯正を希望された。

症例では炭酸ガスレーザーの特徴ともいえる LLLT（Low reactive Level Laser Therapy）によって免疫機能を高める効果的な上唇小帯切除方法や歯周組織の改善、装置装着時や歯牙矯正移動時の疼痛緩和等を DVD で説明する。